



平成 15 年 11 月 第 63 号

ながい

市議会だより



獅子舞フェスティバルは快晴のもと開催。全国から14団体が参加し、特に長井小学校の獅子に大歓声があがりました。

国民文化祭に子ども獅子

長井小学校の獅子舞は5月獅子舞クラブとして発足しました。獅子頭は渋谷正斗さんと江口忠博さんが国文祭出演記念として寄贈。長井の獅子舞の笛はすでに子供達が主役になりつつありますが、国文祭参加に合わせ獅子振りや警護役の男子生徒をつのり練習を重ね参加しました。

学び体験
ふれあい

おもな内容

ページ

- *議会の動き…………… 2～3
- *一般質問…………… 4～8
- *決算特別委員会…………… 9～10
- *予算特別委員会…………… 11
- *討論…………… 12
- *委員会の焦点…………… 13～14
- *長井の^イところ…………… 15
- *傍聴席…………… 16

9月定例会

平成十五年九月定例会は、九月二日から二十四日までの二十三日間の日程で開催されました。

定例会では、平成十四年度一般会計及び特別会計決算認定のほか、米沢市・長井市・川西町合併協議会設置についてなどの一般議案六件、一般会計及び特別会計補正予算六件などが提案され、合併協議会設置議案は否決、その他は可決しました。また、人事案件五件、請願三件、議案一件は可決しました。一般質問には八議員、決算総括質疑に二委員、予算総括質疑には三委員が立ち、市当局の考えをただしました。

二市一町(米沢、長井、川西)
合併法定協議会設置議案は否決

本定例会において、米沢市・長井市・川西町合併協議会設置についての議案が提案されました。

提案の趣旨は、六月二十九日に発足した二市一町(米沢、長井、川西)の合併任意協議会で、話し合いを重ねた結果、基本四項目である①合併方式は、新設合併を基本とする②合併期日は合併特例法の期限内(二〇〇五年三月末)③新市の名称は構成地域住民の意思を尊重し、歴史、文化を踏まえるとともに、分かりやす

く親しみやすい名称を合併協

議会で検討選定し、決定する④事務所の位置については、当面は新しい事務所は建設しない、現在の市町村庁舎の中から決定する。との内容で合意したことを踏まえ、二市一町の合併協議を行うために規約を定め合併協議会を設置するという内容であります。

本議案は、市町村合併問題検討特別委員会に付託され、審議が行われましたが、質疑の後、討論が行われ「合併は推進しなければならないが、

今回の枠組みは市民の理解は得られていない」などの反対意見、「市民からの不安や疑問の声はあるが、合併の本当の議論は法定協議会で行うものであり、まずは議論のできる場所の確保が重要である」などの賛成意見などが出されました。採決の結果、可決同数となり、委員長採決で否決となりました。(委員会の概要は、十四ページをご覧ください)

平成15年度
一般会計補正予算の主な内容

(単位:千円)

- 公共施設整備基金積立……………2,000
- 心のまちづくり基金積立……………2,020
- 道照寺平スキー場用地購入費 ……19,798
- 保育園認可移行促進事業補助金……………2,000
- 臨時保育士賃金……………1,284
- 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金…3,315
- 除雪費……………130,000
- 消防施設整備費 ……14,374
- 森林病害虫防除費……………1,300
- 損失補償費(商工)……………1,989
- 市税等還付金……………5,000

平成十四年度決算を認定

平成十四年度一般会計及び公共下水道事業会計など九つの特別会計決算が提案され、決算特別委員会で審査しました。

引き二億二千四百八十七万一千円から翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支二億二千四百七十七万八千円を翌年度に繰り越すことになったとの内容であります。

一般会計は、歳入が百二十億八千九百四十五万九千円で前年比十一・九パーセントの減、歳出は百十八億六千四百五十八万八千円で前年比九・二パーセント減となり、差し

歳入面の特徴は、減債基金の繰入金や前年度繰越金などの増加はあったものの、市税や地方交付税の大幅減等により、全体では前年度比十六億

二千五百二十九万円、十一・九パーセント減となり、二年連続して十パーセント超の減少したことです。

一方、歳出面では、土地開発公社経営健全化計画に基づく土地購入費や児童福祉や老人福祉など民生費の増などがあつたものの、給与カットや定員適正化計画に基づく職員の削減による人件費の減、公債費負担適正化計画による投資的経費の抑制などにより、全体として十二億百万四千円、九・二パーセントの大幅減となったことです。

また、長引く不況の中での市税の落ち込み、国の財政難から交付税が大幅に減額することなどの影響により、単年度収支は赤字となるなど厳しい財政状況が続くものと思われまふ。尚一層の行財政効率化が求められています。

本決算は、決算特別委員会で総括質疑、細部審査が行われ、採決の結果、委員会、本会議ともに賛成多数で認定しました。

営業収益が大幅減の

水道事業会計

平成十四年度長井市水道事業は、給水体制の安定確保、給水サービスの向上、経営の効率化をめざし、老朽管の更新・改良による有収率の向上、民間委託によるコストの削減、企業債残高の軽減と抑制などに取組んできましたが、有収率は昨年より〇・二パーセント改善されるなどの成果をあげたものの、事業収益は前年

度に比べ、三千三百五十二万九千円減の六億七千八百八十六万四千円となり、当年度純利益は前年度比で三千二百四十万八千円減の千九百九十九万一千円と厳しい決算になったとの報告がされました。

この要因は、行政区域内人口の減少に連動して、給水人口・戸数、総配水量、有収水量などが軒並み押し下げられたことによるものであり、また、供給単価と給水原価の対比で見ると、給水原価が供給単価を四・五円上回る逆ザヤ現象となっています。

おいしい、安全な水を将来に亘って確保、供給するために、経営の安定が不可欠との認識を持って、その施策を検討して行かなければなりません。

本決算は、決算特別委員会で質疑がなされ、採決された結果、委員会及び本会議とも賛成多数で認定されました。

人事

収入役の 選任に同意

佐藤義夫さん

(横町十七番六号)

九月三十日をもって任期満了となるため、引き続き選任するために提案されたもので、全会一致で同意しました。

4名の市政功労者表彰に同意



勝見 芳美さん



渡部 健二さん



遠藤 允さん



遠藤 イチ子さん

市政に対する 一般質問

9月定例会では8名の議員が市政全般にわたる質問を行いました。その概要をお知らせします。

なお、質問の文章は各議員が要約して執筆し、答弁は当局がまとめたものです。また、文中のQ.は議員からの質問、A.は当局からの答弁となります。



蒲生光男議員

十年ぶり冷害対策を

万全に実施せよ

答弁

技術対策の徹底を推進

Q 平成五年以来十年ぶりの冷害で、水稻を初め農作物は大打撃を受けています。政府は、水稻共済金などの支払いを年内中に完了させることなど、被害農家の救済に全力を上げるとしていますが、長井市としても考えられるすべての対策を講ずるべきだと思います。

全筆の被害申告

水稻の被害申告に基き、悉皆調査や坪刈りを実施しました。見た目以上の収量減に農家は悲鳴を上げています。さらに細米が多く売り渡し収量

は作況の基準である網目を上回る一・九のため、更に少なくとも5%の収量減になるものと思われまます。減免や低利融資などを含めた対策について伺います。

対策本部を設置し、農作物被害の実態を把握、対策について検討されていると思いますが、特に共済組合との連携を密にし、十年ぶりの冷害対策を完全に履行できるよう市長の決断を求めます。

A 異常気象対策は、「やまがたこだわり安心米推進運動西置賜実践班」および「長井市農作物異常気象対策会議」の

取り組みのなかで、新聞折込チラシなどにより深水管理、病害虫防除対策の徹底を呼びかけています。その後、水稻不稔調査結果などを分析「長井市農作物異常気象対策本部（本部長、市長）」を設置、八月二十八日第一回会議を開催

しました。具体的対策は、関係団体との連携強化、現地調査の実施による技術対策の徹底、諸対策の迅速かつ的確な推進です。当面できる徹底した対策をとって、その後必要な対策を検討していきます。



小関勝助議員

市町合併は

市民・議会の声で判断

答弁

枠組みは住民意向で調整

Q 米沢・長井・川西の枠組みは、市民・議会とも違和感があり理解できません。歴史・文化・教育や地理的にもデメリットが多く、合併すべきでないと考えます。

A 置賜はひとつを目指し期限内の合併を考える市町で任

意協議会をつくりました。米沢と長井に川西を含めた合併の意義は大きいと考えます。財政を考えれば、市民サービスを維持するためにも合併の理解は得られると考えます。

Q 合併の議案が提案されているが、議会への説明が不十



心配される冷害の影響

ます。また、農業の振興策で農業経営マネージャー制度があります。農業者の自立支援のため新年度に予算措置を望みます。

A: 制度導入を検討の結果、農業委員に役割を担っていただくこととなり、現在、経営相談窓口を開設し、月一回ペースで相談業務を実施中です。

分で議会軽視と思う。市民の声を聞き杵組みを判断する必要等、議会で提言された事が無視されていると感じます。又、庁内検討委員会の意向も生かされていますか。

A: 任意協議会は議会の承認で行い、協議結果も報告しています。杵組みは各報告や住民意向をふまえ調整しました。

Q: 基本四項目について①合併方式は新設合併、しかし米

沢市は長井市の三倍規模、削減するのでは。②合併期日は十七年三月にこだわらず新法もあり十分議論すべき。③名称は、米沢市の玉虫色で米沢主導。④新市の市役所は常識的に米沢中心と思うが、市長の見解を伺います。

A: 基本的合意は出来ました。法定協議会で広く市民や有識者の考えを入れ協議します。

Q: 異常気象で冷害が心配されます。積極的な対応を願います。



蒲生吉夫 議員

二市一町の杵組みは

極めて不自然

答弁

杵組みは柔軟に

Q: 二市一町の合併論議の中で、十年、二十年後は、三市五町が一つの市長の発言ですが、優遇措置がなくなつてから新たに合併する可能性は考えられませんか。根拠とするのは何ですか。

す。絶対にあり得ないと判断しますがどうですか。

A: 合併はアンケート結果だけで進めるのではなく、組み合わせは柔軟に合意のできたところから進める考えです。

Q: 合併した場合、置賜総合支庁西庁舎の各セクション、長井警察署、長井簡裁、検察庁、法務局、税務署、職業安定所など、国主導の合併はこのような機関の整理統合することにもあります。飲食業を始め、影響が大きいと考えますが、どんなまちづくりが考えられるかお聞かせ下さい。

A: 三市五町が一つになると言っているのは、人口一万人以下の自治体は非常に厳しい財政状況となり、自立や存続も難しくなり、垂直統合か水平統合にならざるを得ないと言われているからです。

Q: 市が行ったアンケート調査結果の数字では、二市一町の杵組みは極めて不自然で

A: 合併による具体的な影響



「慈光園夏まつり」風景

の見通しの算定、検討は今のところ行っていない。

Q: 白鷹町、南陽市の介護保険料は六段階で、低所得者の軽減策がとられています。保険料の設定は、今年度から三年間の事業量の予測で設定しましたが、年度毎の徴収であり改定は来年度からでも可能と考えますがどうですか。

A: 介護保険料の低所得者の方への対応として、収入が八十六万四千円以下の方を減額する方向と所得段階六区分導入の両者を、地域ケア包括会議に諮っていきます。



藤原 民夫 議員

なぜ米沢か、なぜ合併か

答弁

基本四項目で合意

Q: 合併の期日と事務所

米沢・長井・川西の二市一町は、十七年三月合併で合意したというが、米沢市長は協議のなかで、四千項目にのぼるといわれる事務作業を「十七年三月までには、物理的に、政治的に、事務的に可能なのかを考えると、方法論でも考慮する必要がある」と言って、新市の事務所の位置も事務処理方法も、基本となる自治体の方式に合わせる必要がある。つまり米沢市方式でなければ無理と発言しています。発言の真意は。

A: 期日までに事務的な作業

を完了することが出来るのか

という不安と、米沢市の座談会では合併の方式を編入とする方が多かったことから、正直なところ市長は編入の考えを持っていたので、あのような発言になったと思います。

Q: 合併方式と新市の名称

目黒市長は市報紙上で「米沢から『名称（米沢市）を考慮してもらえらる方式について新設を考慮する』という発言があり『新設・対等で』『合意した』と書いています。つまり掲載の意図は、米沢が

新市の名称をとり、合併方式を長井・川西が取ったという

政治的駆け引きを披露したかったのか。市民の問いは、なぜ米沢なのか、なぜ合併なのかへの回答です。

A: 市報掲載の件は、新市の名称について、米沢市では米沢を残してほしいという意向が非常に多かったと聞いているし、市長の本音も米沢市だろうと思います。合併の方式は、長井市と川西町の議会も首長も、対等新設は譲れないということと、新設を基本とすることを主張し、基本四項目について合意したものです。



2市1町の合併任意協議会



高橋 孝夫 議員

財政シミュレーションで「有利な条件」の検証を

答弁

合意後の財政は検討中

Q: 合併問題は、財政がどうなっていくのが一番の課題

と思います。しかし、任意合併協議会では、一度もその内容にふれられていません。特に、一つは地方交付税がどうなるのか、二つは合併特例債の活用は起債制限比率との関係でみれば本当に四百二億円の事業ができるのか、等の財政シミュレーションが不可欠です。「合併の有利な条件」なのかどうか見極める必要がありますが、どう検証されているのですか。また、中央地区地区長会との懇談会では「枠組み」「基本的な考え方」「情報が少ない」等様々な意見が出され、まだまだ理解と納



整備が本格化する道照寺平スキー場

得の域に達していないと感じます。真摯に市民の声に耳を傾けることこそ大事ではないですか。

A 合併後の財政について検討中ですが、有利な合併特例債を活用し計画的に進めたいと思います。同じ仕事をするのに三十%の自主財源で済むか、自主財源百%でやるのか、

市民のために三倍の仕事ができます。中央地区長会では合併の必要性は大半の人が理解しているが、合併の枠組みはこれから説明が必要だと聞いています。今後も市民の皆さんの意見をお聞きます。

Q 公共施設整備基金をスキー場用地購入費に充てることは基金の目的に反し、整理

が必要です。財

産購入計画を

しっかりと立

て、長期にわた

る賃貸借契約を

解消するための

検討の時期では

ないですか。

A 公共施設整

備基金の活用は

年度当初から議

会にお諮りして

きたものです

が、他の公共施

設用地で未買収

の状態のものも

ありますので、

計画的に問題解

決に努めます。



大道寺 信 議員

市民の理解を得られているか

答弁

情報公開し

市民の理解に努力

Q 二市一町（米沢、長井、川

西）の合併法定協議会設置に

ついては、市長は市民の理解

を得られていると言われている

ますが、市民の声には「合併

をしなければならぬことは

理解するが、枠組みについて

も意見を聞くべき」「対等新設

といっているが、実質米沢に

吸収されるのは明白で、長井

の地域活力はなくなるので

は」という大きな不安等の意

見が多くあります。合併は市

民の十分な理解がなければ実

りあるものにはならないと思

いますが、本当に市民の理解

を得ていると思われませんか、

お聞きします。

A 置賜は一つの考えのもと、

第一段階として米沢市・長井

市・川西町で合併を進めるこ

とについて、市民の皆さんに

説明し、理解をいただくよう

努めています。枠組みについ

てはいろいろな意見があるか

と思いますが、法

定協議会で議論し

て克服すべき課題

であるし、情報を

公開しながら市民

の理解が得られる

よう努力したいと

考えています。

Q 生活排水の整



着実に工事が進む第4期「公共下水道」

備については、今後のあり方として合併浄化槽の市町村設置型を導入し、より効率の良い整備をして行くことをこれまで数回に亘り提起してきましたが、基本的には導入することと考えておられるのか、また導入するとすれば、時期はいつごろを考えておられるのか、料金体系や条例改正などはどのように検討されているのか等についてお聞きします。

A 平成十六年度に条例等を整備し、十七年度から事業化する予定で検討しています。市町村設置型合併処理浄化槽事業を導入する区域は、公共下水道事業認可区域及び、農業集落排水事業区域以外の全ての区域を計画しています。



我妻 昇議員

時間外窓口はいつ実現するか

答弁

新年度から対応

Q: 市民へのサービスを向上させると税の滞納者が減るといふデータがあります。当市には四億二千万の収入未済額があり「隠れた財源」と指摘されました。時間外窓口の実現に向けて職員団体との事務折衝はどこまで進んでいますか。また、土日開庁も含めていつ実現できますか。

A: 毎週金曜日、一部証明書等の交付延長を行っています。が、検討委員会を立ち上げ、今年度精力的に窓口業務のあり方について協議し、新年度から充実が図れるよう対応して参ります。

Q: 市内の様々な行事が新聞に載らないと市民から指摘されます。例えば八月二日の花火大会情報が山形新聞に載りませんでした。提供した情報がどう扱われるか常に気を配ってほしいし、場合によっては抗議する気構えが必要だと思えます。

A: 市の主な行事等については各新聞社に情報提供していますが、たまたま花火大会は事業主体の働きかけが足りなかったと思います。これから周知徹底をしていきます。



時間外窓口の制度化実現は…

名で視察されてきたようですが、そのような事は、平日でなく日曜日に行い、若者にも参加の機会を与えるべきです。多くの人に関わってもらい、自分達の施設と想っている。ただ、事が大切だと思います。

今後旧郡役所とその周辺をどのような施設にする予定か伺います。

A: 旧郡役所は歴史的建造物として保存継承すると共に、市民の皆さんが、会議や展示場の機能をもたせたギャラリー的な活用等十分に意見をいただいて進めていきたいと思っています。



内谷 重治議員

住民投票制等 まちづくり基本条例の検討を

答弁

情報共有に努め議論

Q: 私は、先の六月議会会で合併を進めて行く際に、民意をどう諮って行くかの視点から望ましい合併のあり方を市長に質し、十分な市民の合意形成を図っていくことを求めました。しかし、市長はこの三ヶ月間二市一町の枠組みのメリット、デメリット等の情報や合併後のまちづくり構想等の説明責任を果たさず、合併期限が迫っているとして、この九月議会に米沢・川西との二市一町の法定合併協議会設置を議会に上程しました。概ね市民の賛同を得ていると推測される合併ですが、合併問

題を含め、今後のまちづくりを進める指針として、市民一人一人が情報を共有し、自分たちの住む地域の将来構想とその策定に参加できる仕組みづくりを整備することが必要だと考えます。このため、合併などまちづくりの重要な課題は住民投票制等で決定し、市民との情報共有の原則とまちづくり参加の仕組みづくり等を明確化する『まちづくり基本条例』の制定を検討してはいかがですか。お伺いします。

A: 任意協議会で三市町が議論し、合意できたので、それ



それぞれの議会に提案しています。協議内容は公開し、座談会でも市民の意見を聞いてきました。今後、どういうまちづくりをするか、行政サービスをどう確保するか、議論が煮詰まったものは示し、公開して行きます。情報の共有は必要であり、シミュレーションや基本計画と一緒に公表し、大いに議論いただきたいと考えます。まちづくり基本条例は、長井市の個性を生かすためにも効果があると思いますので、検討していきたいと考えます。

決算特別委員会

総括質疑

見直しの視点こそ整理すべき

高橋孝夫委員 監査委員が指摘している「補助金の問題点」の中で、額が少額または全体に占める比率が低い事業の例として公民館活動費を挙げていますが、地域活動、生涯学習、まちづくりの観点からこの例に当てはまるべきではなく、むしろ分館ごとに、構成する住民の負担が公平でない事こそ見直すべきでは。

飯田監査委員 不適当な事業だと言っているのではなく、補助金とその事業の中身をチェックするべきだという意味です。

竹田教育長 実態を調べ助成できる道があるか検討してみたいと思います。

委員 水道事業において投資の質を考慮すべきとは、どういう事か。

監査委員 支払利息が一億五千万もあり利益が出ていない。今後は投資にも限度が必要ではないかという意味です。

委員 第四次拡張事業を今の実態に合わせて見直さないと、大変な事態に陥るのでは。

青木水道事業所長 水源を百%地下水に依存している現時点のままでは、動力費が大きいので、今後自然流下等の対応を検討していきます。

入札制度改革は財政に貢献する

蒲生吉夫委員 「補助金の問題点」にある、終期時期等を設定していないものの中で、一番大きいのが地場産業振興センター補助金だと思います。十四年度は二千九百万の運営費を補助していますが、二年前の運営不足分を穴埋めする形での予算です。監査委員として、赤字を市の予算で

埋めるのではなく、そろそろ自立をして下さいという指摘をすべきではありませんか。

飯田監査委員 終了した事業に対しての補助金は、市長が必要と判断し議会で議決されれば問題ないようですが、意味が深いものですのでさらに勉強し、今後意見したいと思っています。

委員 十四年度の工事に関わる指名競争入札七十四件の平

均落札率は九十七%と高く、全国市民オンブズマン大会で指摘された九十五%と比べ、計算すると二千二百万円違っています。一般競争入札の導入は落札率を下げ、財政に大きく貢献するのでは。

佐藤財政課長 一般競争入札は不適格業者が落札する可能性と、事務量が膨大になることから直ちに導入は難しく、調査検討したいと思います。

討論

●平成十四年度長井市歳入歳出決算に反対

平成十四年度決算は、最大の課題である雇用対策は安定したものではないこと。行政システム開発は、単に国の管理システムを遂行するためのものであること。斎場の民間委託は委託先の選定等に公平性を欠く

ものであること。一般廃棄物の収集は、新しい分別と収集方式となり、燃やしてよいごみの量が大幅に増えたこと。地場産センターの運営補助金は、万遍と続ける結果となっていること。などの理由から平成十四年度決算に反対するものです。

平成14年度歳入歳出決算を認定

一般会計及び九つの特別会計の決算審査は、議長と議会選出の監査委員を除く全員で行われ、全ての会計決算が認定されました。その概要は以下の通りです。

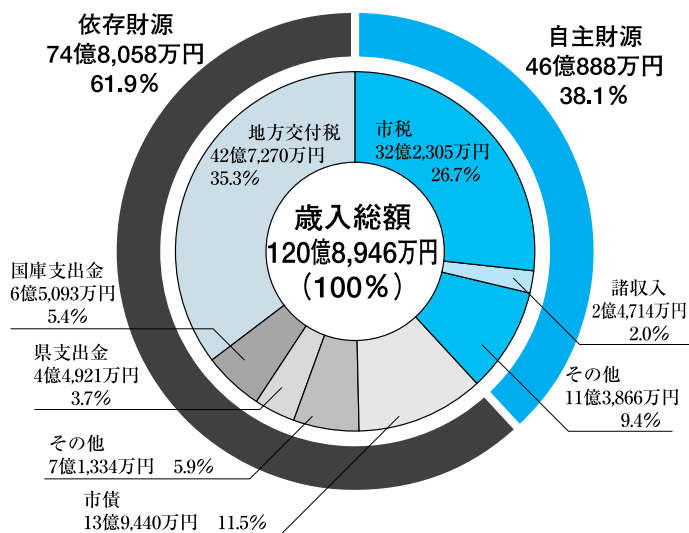
平成14年度 特別会計決算

(単位：千円)

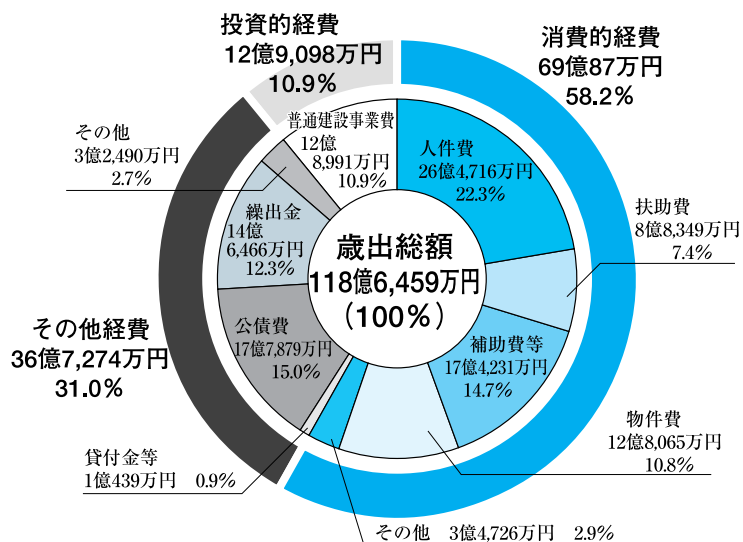
区分 会計名	歳入 決算額	歳出 決算額	差引残額
国民健康 保 険	2,101,519	1,969,910	131,609
物品調達	37,892	37,604	288
特 公 共 下 水 道 事 業	1,672,959	1,671,795	1,164
老人保健 医 療 費 給付事業	3,142,679	3,139,470	3,209
別 山形鉄道 運営助成 事 業	143,058	133,049	10,009
会 農業集落 排水事業	261,822	260,921	901
公共用地 取得事業	7,797	7,797	0
計 訪問 看護事業	27,390	26,279	1,111
介護保険	1,785,596	1,758,854	26,742
合 計	9,180,712	9,005,679	175,033

平成14年度 一般会計決算内容

歳 入



歳 出



算 特 別 委 員 会

総括質疑

基金取り崩しの 説明責任を

説明責任を

安部隆委員 公共施設整備基金は、平成十年三月の創設時の経過として、河井温泉の分湯権を取得することを目的とされたものと認識しています。がどうですか。また、当時、湯権を持っている業者と分湯の確約書を交わしているはずですがどうですか。

財政課長 基金創設当時の議会議事録から、委員がおっしゃっている経過と分湯権の確約書について知り得たところですが、

委員 市長は、今定例会にこの経過を軽視し、他の公共施設整備に基金を取り崩す補正予算を上程してきましたが、まだ確約書の有効期限内であ

ることから、この基金を取り崩して運用することに疑問を感じます。法的根拠の示すなかで、取り崩しの整合性はありますか。

市長 この基金条例を素直に読めば、市長が財政上必要と認める時、運用できるということなのでこれに違反することには当たらないと思います。

委員 市長が基金に基づき、実施に向けた調査検討も十分にしないまま他事業に運用することは、市民の期待に対する説明責任を果たしていないと思います。どうですか。

市長 次年度は特に財政が厳しく、優先順位をつけて整備せざるを得ません。ご理解ください。

まず臨時保育士の 身分保証が先

蒲生光男委員 財政対策とサービス向上の必要性から、給食調理場の民間委託と保育業務の民営化が検討されています。特に、臨時保育士の身分の保障など雇用環境を改善

する必要があります。

助役 これまでも一般質問で指摘があり答弁しましたが、臨時保育士について十六年より段階的に社会福祉協議会への身分を切りかえていきたいと考えています。

委員 臨時保育士が望めば、全員の身分を切りかえることが必要です。昭和四十九年には社会福祉協議会に所属していた保育士さんが職員へ身分が切りかえになりました。保育現場で働く臨時の保育士は正職員と同じ仕事をしているにもかかわらず、賃金も含めた労働条件、福利厚生面に差があり絶えず不安を抱えながら懸命に勤務しています。現在臨時保育士なくして長井市の保育行政が成り立ちません。助役 正職員退職後は社協で補充の採用をしていくことになり、給料表についてもヘルパー同様独自のものを採用することになると思います。公正な立場で正と臨時を問わないとすれば、社会福祉協議会の職員になると思います。

地場産センターの 総点検を

総点検を

藤原民夫委員 地場産センターの業界負担分について、破綻したハイマンロンドが債務不履行となった場合は、公的資金の投入は避けられないという内部文書があります。

これが事実なら長井市が銀行等と債務保証や損失補償契約を結んでいることになりますが、事実はどうなっていますか。

商工観光課長 金融機関から当時借入した金額三億四千万円のうち、一億八千万円について債務負担行為を起こし損失補償しております。

委員 会社などの法人の債務に対して、地方自治体が債務保証を行うということができませんか。



財政課長 法人に対する政府の援助の制限に関する法律によりますと、損失補償は別ですが、地方自治体は法人に債務保証をすることができません。

委員 全国的に第三セクターの破綻の例がそちこちにありますが、新聞報道によれば、函館市は赤字になっても市が債務保証をしないと協定に銘記したとのこと。本市でもこのようなルール作りが必要だと思います。いかがですか。

市長 民間でできることは民間で、官でやるべきことは、やはり限定的に官でとパブル時代の反省を踏まえなければと思います。

討論

本会議において行われた討論の概要についてお知らせします。

議案第六十七号 合併協議会設置議案

●議案第六十七号に賛成

昭和の合併によって、長井市が誕生しましたが、合併の弊害はありません。

合併は社会情勢の変化、特に通信や交通手段により、飛躍的に広がった市民の生活圏に合わせて行政圏を広げることによって、経常的経費の節減につながるものです。現在行おうとしている市町村合併特例法は、二〇〇五年三月までの時限立法でもあり、総合的には「置賜は一つ」という理念のもと、現在その意志のあるところから法定協議会をスタートしようとするもので

あり、賛成するものです。

●議案第六十七号に反対

地方交付税が減らされるからやっつけいけないとは、世論誘導と疑わざるを得ないこと。この度の進め方は市民の意見をないがしろにして進められており、枠組みについての市民の意向は、反対という声が圧倒的です。合併となれば必然的に、住民がどの様な地域づくりを望むのかという問題まで突き当たり、そこまで踏み込んだ情報提供があつて初めて合併のスタートラインにつくものです。その流れに逆行するものであり、反対するものです。

●議案第六十七号に賛成

長井市は、昭和四十九年から五十二年にかけて赤字決算したとき以来の最大のピンチであり、今後の人口減を考え

たとき、交付税保証期間に財政を改善する必要性からも、期限内の合併を進めるべきです。また、二市一町の枠組みが反対であれば、任意協議会設置の段階で反対すべきであり、議決という点で、任意協を良しとし、法定協で話し合うことを否定することこそ失礼です。法定協は話し合う場であり、これを閉ざす考えに到底賛成できません。合併に対する認識と任意協議会参加を認めた責任からも、賛成するものです。

●議案第六十七号に反対

二市一町の枠組みは、市民にとつて米沢市に対する違和感があります。市民の大多数は合併は推進すべきと理解しているものの、西置賜内での合併を望んでいる人が多いことから、市民の理解を得ないままに合併を進めることは民

意に背くことになり
ます。また、先人が
つくり上げた歴史、
文化、環境などの財
産を薄れさせる行為
の合併は断固として
認めるわけにはいき
ません。合併は住民
の合意がある程度得
られるものを望むこ
とから、反対するも
のです。

議案第七十一号

一般会計補正予算案

●議案第七十一号に反対

補正予算の中で、置賜地域地場産業センター運営資金に対する損失補償の総額三千万円に対する元利償還は、これまでの地場産業センターと業界とのあり方、具体的な経営評



価の基準や手法があいまい、または不明なこと。裁判所の申し立てた業界負担金の債権の内容と見通しはどうなるのか。今後どのような運営改善計画がなされているのか。などの検討がなされないままの提案であり、財政再建を標榜する長井市にとっては、歯止めのない支出は到底容認できないものではないはずのものです、反対するものです。

常任委員会の 焦点

主な審査結果など

組織を整備できるようにするものです。

長井市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正については、地方公務員災害補償法の一部改正により改正するもので、災害補償請求に際し、実施機関又は審査会からの報告や出頭又は医師の診断を拒否した場合等の罰金額を現行の十万円から二十万円に引き上げ、罰金刑としての機能を十分なものにする等のために提案されたものです。

期日前投票制度 に対応

総務・文教常任委員会に付託されました議案三件の審査を行いました。

長井市課設置条例の一部改正については、地方自治法の一部改正により改正するもので、多様な行政需要に的確かつ機動的に対処できる行政組

厚生

国の支援が必要

付託になりました請願一件の審査の結果について申し上げます。

「乳幼児医療費無料制度の創設を求める」意見書提出

子供は社会の宝であり、子供の健やかな成長を社会的に保障し、若い父母が安心して子育てできるよう「乳幼児医療費を国の責任で無料にする」ことが求められています。

一人の女性が産む子供数は一・三二に過去最低を更新しています。リストラや不況、就職難のもとで若い世代の家計もますます厳しさを増し、乳幼児医療費の無料化の願いは一層切実になっています。

山形県は、過疎化と高齢化が進み年々出生率が低下している中で、県独自の少子化対策、子育て支援策として二〇

〇一年から就学前無料化が実施になり、若い父母たちから喜ばれています。

どの子の命も平等であり、少子化は国の将来にかかわる重大問題であり、国でこそ乳幼児医療費無料化の制度創設を行い自治体の事業を支援していくことが求められています。以上の内容ですが質疑、採決の結果全員一致で採択しました。

産業 建設

住民の不便を解消

産業・建設常任委員会に付託された請願一件の審査を行いました。

「今泉地区農業集落排水処理施設使用料の口座振替に関する請願」については、地区民の願望であった生活排水処

理施設が完成し、利用者の恩恵は計り知れないものであるが、その使用料金の納付方法について不便が生じていることから改善してほしいというものです。

現在の納付方法は、収納代理金融機関への個人納付の方法で行われていますが、金融機関の再編に伴い、地区から収納代理金融機関がなくなつたことにより、納付場所が遠隔地となり、不便を感じていることから、組合員の要望の強い口座振替制を早期導入してほしいというものです。

審査では、当局から口座振替制を検討した経過の中で、システム料が多額となり実現できなかったが、下水道事業のシステムを使用すれば少額でできる見通しが立ったことから実現したいとの考えが示されました。

討論では、農業集落排水事業に理解を深めるためにも、住民の不便を解消するためにも導入すべきであるとの意見が出され、採決の結果、全員一致で採択しました。

特別委員会の 焦点

主な審査結果など

市町村 問題 検討

可否同数

委員長採決で否決

市町村合併問題検討特別委員会に付託された議案一件、請願一件の審査を行いました。

◎米沢市・長井市・川西町

合併協議会の設置

本案は、米沢市・長井市・川西町の合併協議会を設置するため、地方自治法第二五二

条の二第三項の規定により提案されたものです。審査に入り、委員からは、

○合併は、少子高齢化の進展や国・地方自治体の財政逼迫から、避けて通れないと思うが、この度の合併協議会の設置は市民理解が得られていない。多くの市民は、米沢市に吸収されるのではとの不安をもっており、市民も合併には賛成だが、今回の枠組みは賛成していない。

合併の枠組みは市民の十分な理解が必要で、まだまだ理解が得られていない状況で反対。○昭和の合併で市民に困った人はいないと理解する。

長井市は財政的にも厳しくなっており、将来的に禍根を残せない。

市民の要望を解決するためにも、合併特例債を活用し、新しいまちづくりが必要で賛成。

○国の財政の悪化で地方交付税が減少し、地方自治体の財政は歳入不足をまかなえない状況。歳出は人件費等の高騰で収支不均衡となっている。

二市一町は歴史的なつながり、交流の少なさ、独特な風土に対するアレルギー等、疑問や不安。市民への説明不足もあるが、合併に関する本場の議論は、法定協議会で行うもの。最終的に住民投票などを含む意見聴取を行い、議会が決めるべき。

議論のできる場所の確保が重要で賛成。

○二市一町の枠組みを、市民の方百名前後の方々に伺ってきたが、大多数の方が違和感をもっている。特に商店街の方々から強い反対の声がある。

市民に対し、正確な情報を示していない、住民不在の進め方に問題がある。合併推進に変われないが、今回の枠組みは到底納得いきませんので反対。

との意見がありました。採決の結果、可否同数となり委員長採決で否決となりました。

◎「広域合併についての市民意識調査の実施を求める請願」

市町村合併は行政だけでなく、市民の将来に直結する重大な問題。

二月に市が行った市民意識

調査では、二市一町の枠組みは触れられておりません。

今後、新都市計画等が示されると思うが、市民がチェックする機会もなくなる懸念がある。合併するかどうかを決定するのは市民です。で、市民意識調査を行ってほ

しいとするものです。

審査の結果、広域合併は住民による住民の合併が平成の合併理念。住民の利益のため意識調査を行うのは当然で賛成の意見があり、採決の結果賛成多数で採択となりました。

請願

採決

○今泉地区農業集落排水処理施設使用料の口座振替に関する請願書（今泉地区農業集落排水処理施設利用組合長・横山庄治）

○「乳幼児医療費無料を国の制度創設を求める」意見書提出について（新日本婦人の会長井支部代表・小島美智子）

○広域合併についての市民意識調査の実施を求める請願（市町村合併問題を考える西置賜の会会長・佐藤清蔵）

意見書

○乳幼児医療費無料化制度の創設を求める意見書

子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要施策となっており、地方自治体では乳幼児・児童医療

費助成制度が実施されているが、それらの施策を一層充実すると共に、子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現をめざすためには、国として義務教育就学前児童に対する医療費無料化制度を早期に創設されるよう強く要望するものです。



縄ない競争に悪戦苦闘

竹笛づくり、ミニ動物園、どんづきなど手づくり感あふれる様々な催し物が行われ、縄文太鼓のリズムが参加者みんなを古代ロマンへと誘いました。売店では縄文市場のお母さん達による地元産野菜や古代米のおにぎりの販売のほか、そば、フランクフルトなど地産商品が大人気で

縄文まつりの魅力

の巻

長井の
e1
ところ

第2回

朝日の山々が赤く染まり始めた十月十二日、恒例の「縄文まつり」が西根中里にある「古代の丘」にて開催されました。今回で十九回目を迎えるこのイベントには、遠くは北海道、関東からの参加者もあり、家族連れを中心に大変な賑わいをみせました。

会場では、火起こし体験、縄文土器や土偶づくり、どんぐり飛ばし競争、縄ない競争、丸太切り競争、弓矢で熊狩り、

した。

「縄文まつり」が開始より十九年を経てもなお、このような活況を呈しているのはどうしてでしょうか？

第一に、地域の自然環境に根ざした個性豊かな自らの文化を見つめなおすとともに、今まで蓄積された歴史的文化的資源を活用しながら新たな文化を創造している点に、魅力を感じるためではないでしょうか。例えば「縄文太鼓」。地域の野山で取れる幹や枝などを使った独自の楽器で、その昔「古代の丘」に住んでいた縄文人の営みや気持ちに想いを馳せ、同じ風景を見ながら奏でるリズムは、原始的でありながらもむしろ新鮮で、創造性豊かなものです。多くの小中学生が「縄文太鼓」に魅せられ打ち手として加わったり、国内外のミュージシャンが熱烈なファンになるというのも頷けます。

第二に、参加体験型の企画

によって積

極的に世代間交流を推し進めている点です。

元気一杯な老壮年が、自ら持っている様々な技や知恵、知識を、丸太切り競争や縄ない競争、弓矢で熊狩りなど工夫を凝らした体験型の企画を通して、次世代を担う若い人達に伝えていきます。お年寄りが童心に帰って、お孫さんと一緒に遊べる元気に遊ぶ姿は、本当に微笑ましい限りです。少子高齢化時代、このようなイベントはますます重要になるでしょう。

「縄文まつり」は来年で二十



「縄文太鼓」創造性豊かなリズム

歳を迎えます。今回も高校生や中学生のボランティア（GCC）が運営を支えてくれましたが、来年はあなたも一緒にまつりを創って楽しんでみませんか？老若男女だれもが楽しめる本当に気持ちいいイベントです。

（N・W）

傍聴席



高野町 高橋 定司

市民の気概と

自律と自立

長井市・米沢市・川西町合併協議会の設置について表決されると聞き、初めて市議会傍聴に出かけました。緊張しながら傍聴席に座り、議員さんの後方から見下ろせる傍聴席は、議員さんひとり一人の表情を見ることができなかったものの、議会全体を見るには適した場所でした。

さて、国が進める合併は借金で苦しんでいる会社「合併したら金を貸す」と言っているようなもので、ありがたいたって受け入れるか、さらに借金漬けになってしまうと心配して断るのか、真剣に考えなければならないと思います。

ます。結論から言えば、合併は「まちづくり」のチャンスであると考えます。

しかし、借金で苦しんでいる会社が合併したからといって良くなる保証はありません。また、借りた金をどんどん使っていけば借金が膨らむだけです。市町で行政改革・財政改革を必死で行い、単独でも行けるくらいに努力し、単独で行けると思えば単独で行けば良いし、それでも合併のほうにメリットがあると思えば合併をする、そういう選択もあると思います。長井市の、現在の財政状況・少子高齢化・人口減少等の問題を考えますと、合併は必要不可欠であると認識しています。

今回、少し残念に思ったことは、議員さんの討論をお聞きした内容で、基本的な方針・基本四項目についての討論は少なく、全てが枠組みについての内容で今後の長井市のまち

づくり、ビジョン等のお話はお聞きすることはできませんでした。最後に、合併する場合でも合併しない場合でも市民の自らの地域振興、気概、地域の自律と自立が必要だと思えます。優遇される立場ならそれを生かす、逆境におけるのなら逆境を跳ね返すような工夫と取り組みとその気概が必要だと思えます。口を開けて餌を待つ小鳥ではダメだということではないでしょうか。



十二月

定例議会の

予定

(開会 は午前10時)

11・27(木) 告示

12・1(月) 議会運営委員会

12・5(金) 開会

12・9(火) 一般質問

12・10(水) 一般質問

12・11(木) 総務・文教・厚生
常任委員会

12・12(金) 産業・建設常任
委員会

12・16(火) 予算特別委員会

12・19(金) 表決・閉会

◎正式な日程は、議会運営委員会
会で決定します。

議会傍聴に

お越し下さい

難しい手続きはいりません。議場入り口で、氏名、住所を記入してお入り下さい。尚、議場へは庁舎東側階段をご利用下さい。

編集後記

九月定例会は、重要な課題である合併法定協議会設置議案の審議で緊迫した議会となりましたので、本号は合併の記事が多く掲載されています。定例会終了後の十月五日

は、国民文化祭が開催され、長井市では獅子舞フェスティバルが行われ、市内社中や全国の獅子の参加により、全国の珍しい獅子や白山神社の「夫婦獅子」、長井小学校児童の「子ども獅子」などの素晴らしい舞を多くの方が堪能しました。

同日は、皇太子ご夫妻が長井市を訪問され、多くの市民が奉送迎されました。とかく暗い話題しかないと言われる中で明るい話題に沸いた一日であったという声が聞かれました。

度重なる誘拐事件、殺害事件など、暗いニュースばかりですが、明るい話題が多くなる社会が一日も早く実現できればとつくづく思います。

■編集委員 ◎委員長 ◎副委員長

◎大道寺 信 ◎我妻 昇

佐々木栄七 佐々木謙二

蒲生 光男 内谷 重治